

人権啓発 フェスティバル オンライン講演会 2021

視聴無料

手話通訳・
字幕あり

申込不要

松山市
ホームページから、
講演配信サイトへ
移動できます



講師

演題

配信期間

はす いけ かおる

蓮池 薫

夢と絆

～ 北朝鮮での24年間、そして今～

2021年(令和3年)

10月31日 日 13:00
～ 11月7日 日 24:00

- ◆前もって録画した蓮池講師の講演を、オンライン配信します。
- ◆配信内容は、10月31日に総合コミュニティセンターで行う講演と同じ内容となります。
- ◆オンライン配信を視聴するための事前申し込み等は不要です。

● 詳しくはこちらを検索 ●

松山市人権啓発課

検索

新型コロナウイルスの感染状況により、10月31日に総合コミュニティセンターで予定している講演会等の当日開催を中止する場合があります。最新情報は松山市ホームページでご確認ください。松山市人権啓発課 検索

主催 松山市・松山市人権教育推進協議会

蓮池 薫さんからのメッセージ

私たちが北朝鮮から帰国して今年で19年になります。しかし、まだ多くの拉致被害者が帰国を果たしておりません。帰国を果たしていない被害者のご両親でご存命の方は、今やお二人になってしまいました。一体なぜこれほどまでに解決しないのでしょうか。一体何が問題なのでしょうか。

北朝鮮は1970年代後半から多くの日本人を拉致しました。国家が何の罪もない他国の若者を暴力的に連れ去る目的とは、一体何だったのでしょうか。そこまでする必要があったのでしょうか。

1978年7月31日、想像もできない恐怖の出来事が私の人生を完全に変えてしまいました。ごく平凡な大学生を連れ去るために彼らはどれほど周到な作戦を立てたのでしょうか。私を連れ去って一体何をさせようとしたのでしょうか。

私は北朝鮮に24年間、拉致されていました。この間幾度かの変化があって生活境遇が変わり、最終的に帰国できました。最後の最後まで拉致を否定していた北朝鮮が日本の首相の前で認め謝罪したのは一体何のためだったのでしょうか。

拉致問題を解決するためには、一人でも多くの方々が拉致の実態を知り、拉致被害者やそのご家族と意思を一つにさせていただくことが必要です。私の講演が少しでも皆さんの心に伝われば幸いです。

講師プロフィール

1957年新潟県生まれ。中央大学3年在学中の1978年に拉致され、24年間、北朝鮮での生活を余儀なくされる。帰国後、1年間の市役所勤務を経て、新潟産業大学嘱託職員・非常勤講師として働いたのち、中央大学に復学。

2008年3月 復学していた中央大学 卒業。

2013年3月 新潟大学大学院博士前期課程修了。

2013年4月 新潟産業大学経済学部准教授(至 現在)。



「取り戻す」ためのシンボル

ブルーリボン

拉致被害者の救出を求める国民運動は、ブルーリボンと青色を運動のシンボルにしています。

青色は、被害者の祖国日本と北朝鮮を隔てる「日本海の青」を、また、被害者のご家族を唯一結んでいる「青い空」をイメージしています。